

2026年1月15日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

腎細胞癌に対する手術・放射線・薬物療法の治療成績に関する検討

研究の概要

【背景】

腎細胞癌は世界全体の悪性腫瘍の中で約2%を占めますが、新規に腎細胞癌と診断された患者の約30%が初診時から転移性であり、ステージⅣの患者の5年生存率は12%と極めて低いです。そのため腎細胞癌の診断～手術～薬物治療の治療戦略の確立が責務ですが、近年、腎細胞癌の治療選択肢は非常に多彩になってきています。転移がない場合は手術療法が標準治療ですが、部分切除術と根治的腎摘除術のどちらを選択するのか、腹腔鏡やロボット支援手術、開腹手術の中でどれを選択するか、また手術までの期間の決定や薬物治療を併用するべきかどうかなど、検討項目が非常に多いです。しかし明確なプロトコルが存在するわけではなく、症例に応じて検討する必要があるのが現状です。また、転移がある場合は薬物療法が基本ですが、現在の腎細胞癌の薬物治療のレジメンは極めて多数存在している上に、手術と併用する場合はその薬物治療の適切な期間を考慮する必要があるなど、手術療法同様、検討するべき項目が多いです。当院を含め、腎細胞癌の治療戦略に関する単施設の報告は少ないのが現状であり、腎細胞癌の治療状況およびその成績の解析は責務であると考えます。

【目的】

当院で腎細胞癌に対する治療が行われた患者を対象に、どのような治療法が選択されたか、そして各治療法における治療成績や予後の関連因子を探索することを目的とします。

【意義】

これらの診療情報から、大規模な集団における複雑な解析が可能となり、今後の腎細胞癌の治療法の発展に重要な情報を提供し、生命予後や生活の質の向上につながる可能性があります。

【方法】

カルテ情報を用いて、腎細胞癌の治療成績、有害事象内容等について検討し治療の臨床的意義を明らかにします。

対象となる患者さん

2020年1月1日から、2030年12月31日の間に、長崎大学病院において腎細胞癌に対して治療された患者。

研究に用いる情報
<p>●研究に用いる情報</p> <p>下記の情報を診療録より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none">患者背景：臨床所見(年齢、性別、身長、体重、ECOG Performance Status)、既往歴、生活歴、家族歴検査結果（血液学的検査：白血球数、白血球分画、赤血球数、血小板数など 生化学検査：Ca、P、Na、CRE、BUN、AST、ALT、ALP、LDH、CPK、CRP、Alb）尿検査（白血球数、赤血球数、蛋白、糖、円柱、結晶）画像検査（エコー（水腎症の有無、転移、局所再発の有無）、CT（リンパ節、多臓器転移の有無、場所）、MRI（局所病変、深達度）、骨シンチ、PET-CT(遠隔転移の有無、場所)）病理学的検査（組織学的分類、異型度、深達度、リンパ節転移、断端の評価）治療内容（手術療法（手術日、術式、手術時間、出血量）化学療法(投与日時、内容)、放射線療法（日時、照射量）有害事象内容（手術、化学療法、放射線時の入院、投薬を必要とする副作用）治療経過（生存の有無、再発の有無） <p>本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>
外部への情報の提供について
該当なし
情報の利用開始予定日

本研究は2026年1月21日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。
あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2036年12月31日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科
氏名：今村 亮一
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
電話：095 (819) 7340

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科 大木 雅晴
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
電話：095 (819) 7340 FAX 095 (819) 7343

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200
受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）